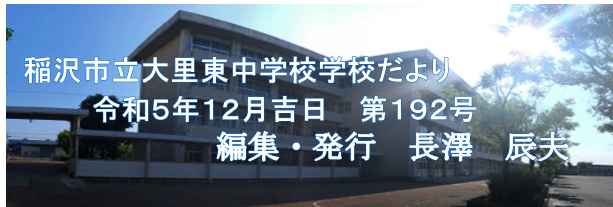


やまもも

稲沢市立大里東中学校学校だより
令和5年12月吉日 第192号
編集・発行 長澤 辰夫



冬をイメージする美しい言葉 「不香の花」

待ち遠しかったわけではありませんが、ようやく冬が訪れが感じられる陽気となりました。年々、寒さがこたえるようになってきました。今年は暖冬とはいえ、海水温が高く、たくさんの水蒸気を含んだ雪雲ができるため、雪は例年以上に多いとのこと。

雪にちなんで、こんな美しい言葉を見つけました。「不香の花（ふきょうのはな）」です。雪の美しさを称え、雪を香りのない花に例えた言葉だそうです。枯れたようになった木々に真っ白な雪が降り積もり、まるで花のように見えることから生まれた言葉です。

草木や花が咲かない冬に見られる、香りのない真っ白な花。彩りがなく、どこか寂しく感じられる冬の風景を飾るすばらしい言葉だと思います。

地域に貢献！ ブラスバンド部！

コロナが終息し、ようやく行われた大里東地区のオールディズの開幕を飾り、本校ブラスバンド部が地域の方々の前で演奏を披露してきました。寒い中、また、期末テスト明けで、十分に練習ができない状況にありましたが、一生懸命な姿が観客の心を惹き、よい演奏であったと思います。この取組は、本校の地域貢献のひとつであり、ブラスバンド部は、その中心的な役割を果たしてくれています。



地域の方々から学ぶことができました！

12月15日（金）、学校運営協議会の委員の皆様からご紹介いただいた様々な職についておられる6人の方を講師にお招きし、大変貴重なお話を本校1年生にしてくださいました。先生方は、大変温かく、ユーモアも交えながら、働く意義、ご自分の職業のやりがい、そして、中学生が今すべきことなどを語ってくださいました。子どもたちは、熱心に先生方のお話を聴き、一生懸命メモしたり、質問したりしていました。

地域の方に支えられて本校の教育活動が進められていることを改めて実感し、シーンとくる思いで、参加させていただきました。講師の先生方、ありがとうございました。

